

iFree オールカンントリー（全世界株式）  
E S Gインデックス  
（愛称：未来へつなぐオールカンントリー  
（ミラカン））

<3470>

追加型投信／内外／株式／インデックス型  
日経新聞掲載名：i F 全 E S G

第3期 2025年4月10日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の株式に投資し、投資成果をMSCI ACWI ESG Leaders指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

|      |       |         |
|------|-------|---------|
| 第3期末 | 基準価額  | 14,679円 |
|      | 純資産総額 | 618百万円  |
| 第3期  | 騰落率   | △1.8%   |
|      | 分配金   | 0円      |

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9：00～17：00（営業日のみ）  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

◇TKU0347020250410◇

「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書（全体版）を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- \* ベンチマークはMSCI ACWI ESG Leaders指数（税引後配当込み、円ベース）です。

### 基準価額・騰落率

期 首：14,944円

期 末：14,679円（分配金0円）

騰落率：△1.8%（分配金込み）

### 基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じて日本を含む世界の株式に投資し、投資成果をベンチマークに連動させることをめざした運用を行った結果、株式市況はほぼ横ばいとなりましたが、為替相場が円高に推移したことがマイナス要因となり、当ファンドの基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1 万口当りの費用の明細

| 項 目        | 当期<br>(2024.4.11~2025.4.10) |         | 項 目 の 概 要                                                               |
|------------|-----------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------|
|            | 金 額                         | 比 率     |                                                                         |
| 信 託 報 酬    | 33円                         | 0.209%  | 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率<br><b>当作成期中の平均基準価額は15,942円です。</b>               |
| (投 信 会 社)  | (16)                        | (0.099) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価                       |
| (販 売 会 社)  | (14)                        | (0.088) | 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価                         |
| (受 託 会 社)  | (4)                         | (0.022) | 受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価                                          |
| 売買委託手数料    | 3                           | 0.018   | 売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (先物・オプション) | (0)                         | (0.002) |                                                                         |
| (投資信託受益証券) | (0)                         | (0.003) |                                                                         |
| (投 資 証 券)  | (2)                         | (0.013) |                                                                         |
| 有価証券取引税    | 0                           | 0.000   | 有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数<br>有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金  |
| (投資信託受益証券) | (0)                         | (0.000) |                                                                         |
| (投 資 証 券)  | (0)                         | (0.000) |                                                                         |
| そ の 他 費 用  | 8                           | 0.053   | その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数                                         |
| (保 管 費 用)  | (7)                         | (0.046) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用                      |
| (監 査 費 用)  | (1)                         | (0.005) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用                                             |
| (そ の 他)    | (0)                         | (0.001) | 信託事務の処理等に関するその他の費用                                                      |
| 合 計        | 45                          | 0.280   |                                                                         |

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

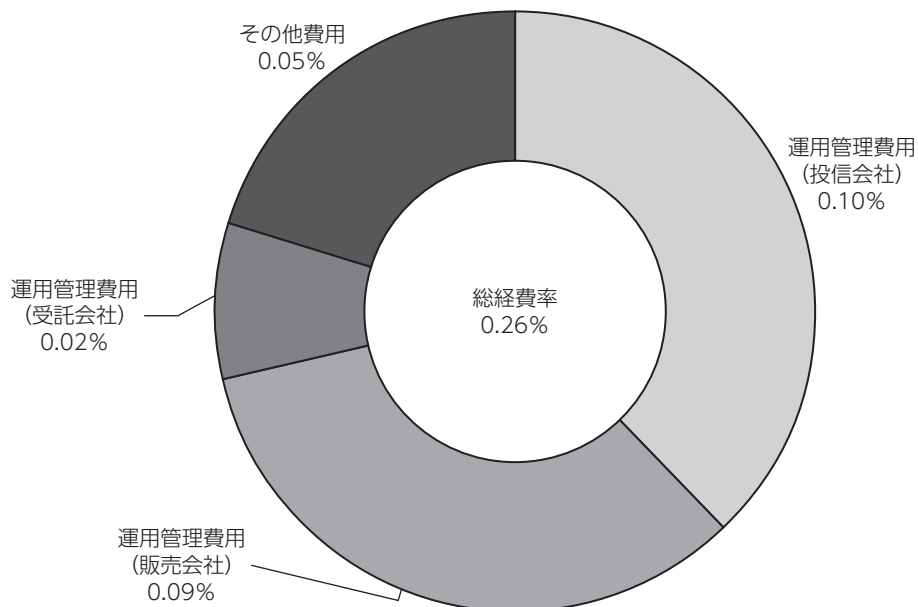
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.26%です。

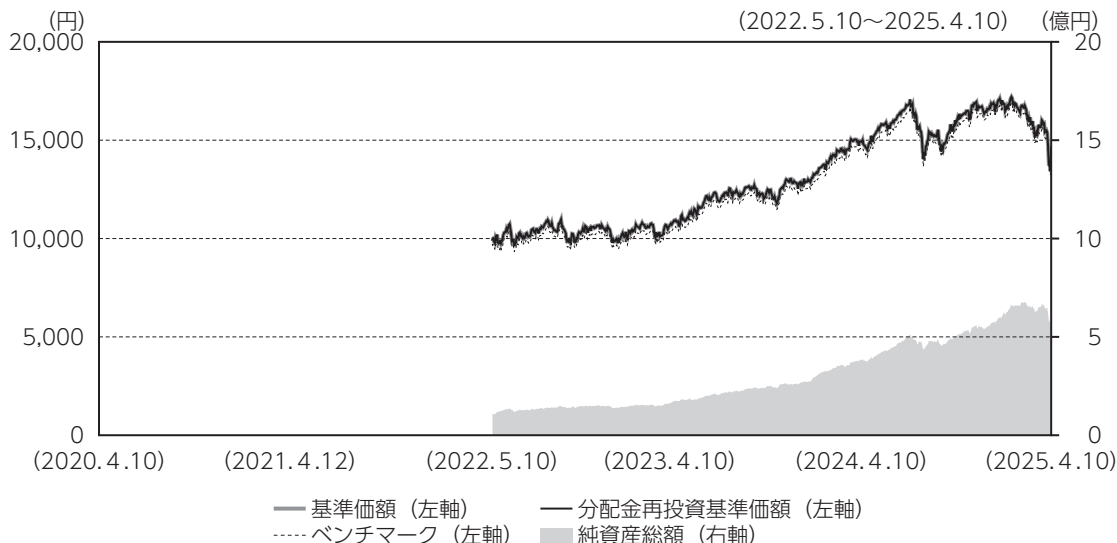


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、2022年5月10日の前営業日を10,000として指数化したものです。

|                                                   | 2022年5月10日<br>設定 | 2023年4月10日<br>決算日 | 2024年4月10日<br>決算日 | 2025年4月10日<br>決算日 |
|---------------------------------------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円)                                          | 10,000           | 10,647            | 14,944            | 14,679            |
| 分配金 (税込み) (円)                                     | —                | 0                 | 0                 | 0                 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 (%)                                | —                | 6.5               | 40.4              | △1.8              |
| MSCI ACWI ESG Leaders指数<br>(税引後配当込み、円ベース) 騰落率 (%) | —                | 3.2               | 41.3              | △3.2              |
| 純資産総額 (百万円)                                       | 108              | 163               | 384               | 618               |

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) MSCI ACWI ESG Leaders指数 (税引後配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI ACWI ESG Leaders指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。MSCI ACWI ESG Leaders指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。 (<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>)

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2024.4.11~2025.4.10)

### ■海外株式市況

海外株式市況はほぼ横ばいとなりました。

海外株式市況は、当作成期首より、米国の利下げ期待が後退したことや中東情勢への懸念が高まったことなどの影響により下落しましたが、米国半導体関連株の買戻しや中東情勢への懸念の後退を主因に、下げ幅を縮小しました。2024年6月に入ると、欧米の経済指標の下振れにより米国の利下げ期待が高まったため、株価は上昇しました。7月後半は、バイデン氏の米国大統領選撤退論がささやかれ政治不安が高まったことや、米国による対中半導体規制の強化報道に加え、好決算にもかかわらず株価急落となった企業も散見され、下落しました。8月初旬は、米国の雇用統計の悪化などによる米国景気の減速懸念の強まりで急落しましたが、その後の良好な米国の景気指標を受けて米国景気への過度な懸念が和らぐと、月半ばにかけて株価は急反発しました。9月上旬は、米国のISM製造業景況感指数などの下振れを受けた米国景気の減速懸念の再燃により下落しましたが、米国半導体大手エヌビディアのCEO（最高経営責任者）が次世代AI（人工知能）半導体需要に対して強気の見通しを示すと、上昇しました。11月に入ると、米国大統領選挙でトランプ氏が当選となったことで、経済政策への期待から米国株式を中心に上昇しました。2025年2月後半から、米国の弱い経済指標を受けて米国景気の減速懸念が強まったことに加え、トランプ米国政権による関税政策が世界経済に与える影響が懸念され、下落しました。4月に入ると、トランプ政権による市場予想を上回る関税政策の公表を受けて大幅に下落したのち、トランプ政権が発動したばかりの相互関税の一部を90日間停止すると表明すると反発しました。

### ■為替相場

為替相場は円高となりました。

対円為替相場は、当作成期首より、主要国の堅調な経済指標により金利が上昇したことなどを受けて円安基調で推移しました。2024年7月から9月にかけては、主要国の金利が低下したことや日銀の利上げ姿勢を受けて円高に推移しましたが、10月以降は、主要国の金利が上昇したことなどを受けて円安に推移しました。11月下旬に米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識され円高に推移しましたが、12月に入ると米国金利の上昇などから円安に転じました。2025年1月以降は、米国で利下げ織り込みが加速したことやトランプ米国政権による市場予想を上回る関税政策の公表などを背景に、円高に推移しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

主として「全世界株式E S Gインデックスマザーファンド」の受益証券に投資します。

### ■全世界株式E S Gインデックスマザーファンド

主として、日本を含む世界の株式（DR（預託証券）を含む。）に投資し、投資成果をベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行うことを基本とします。また、効率性の観点から日本を含む世界の株価指数との連動をめざすETF（上場投資信託証券）や株価指数先物取引等にも投資します。

## ポートフォリオについて

(2024.4.11~2025.4.10)

## ■当ファンド

「全世界株式E S Gインデックスマザーファンド」の受益証券への投資をほぼ100%行いました。

## ■全世界株式E S Gインデックスマザーファンド

株式組入比率（D R（預託証券）、E T F（上場投資信託証券）、株価指数先物を含む。）は、当作成期を通じて原則として100%前後で運用を行いました。

ポートフォリオ構築にあたっては、日本を含む世界の株価指数との連動をめざすE T Fを組み入れることにより、ベンチマークとの連動性を維持するような運用を行いました。また、効率性の観点から株価指数先物取引も利用しました。

\*マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

| 組入ファンド                  | ベンチマーク                                |
|-------------------------|---------------------------------------|
| 全世界株式E S Gインデックスマザーファンド | MSCI ACWI ESG Leaders指数（税引後配当込み、円ベース） |

当ファンドは、「E S Gファンド\*」です。

\*E S Gファンドとは、E S Gを投資対象選定の主要な要素としており、その内容に関する開示が可能なファンドです。

\*当ファンドは、経済的リターンと並行して社会や環境にポジティブなインパクトをもたらす、いわゆる「社会的リターン」の獲得をめざすものではありません。

## ○E S Gの観点により選定した銘柄への投資比率について

当ファンドは、特定のE S G指数に連動をめざすインデックスファンドです。当作成期は、日本を含む世界の株価指数との連動をめざすE T F（上場投資信託証券）を組み入れることにより、E S Gの観点から選定した銘柄に実質的に投資しました。

## ◆マザーファンドにおけるE T F（上場投資信託証券）への投資割合の推移

|           |       |
|-----------|-------|
| 2024年 4月末 | 94.6% |
| 5月末       | 95.3% |
| 6月末       | 95.1% |
| 7月末       | 96.2% |
| 8月末       | 95.3% |
| 9月末       | 95.1% |

|            |       |
|------------|-------|
| 2024年 10月末 | 95.5% |
| 11月末       | 95.6% |
| 12月末       | 95.7% |
| 2025年 1月末  | 96.2% |
| 2月末        | 95.9% |
| 3月末        | 95.9% |

（注）比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

○大和アセットマネジメントがスチュワードシップ方針に沿って実施した行動について

大和アセットマネジメント（以下「当社」といいます。）では、当社が定める「スチュワードシップ活動に関する基本方針」のもと、投資先である企業等や社会の持続可能性の維持、向上に資するべくスチュワードシップ活動を行います。当社のE S Gに関する考えや、E S Gに関しての重要事項を「E S G投資方針」に定め、すべてのスチュワードシップ活動に適用しています。

建設的な対話については、企業等の状況の的確な把握と認識の共有に努めるとともに中長期的価値や持続可能性の向上に資することをめざして定めた「企業等との建設的な対話の方針」のもと、積極的に対話を行いました。

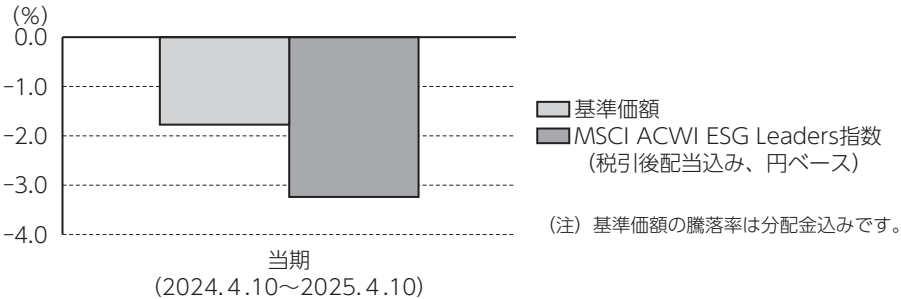
また、議決権行使については、賛否判断に対する基本的な考え方や具体的な基準を定めた「議決権の行使に関する方針」のもと、企業等の中長期的価値や持続可能性の向上を目的として適切に議決権を行使しました。

当社のスチュワードシップ方針やスチュワードシップ活動の詳細について、当社ウェブサイトにて公開しております。当社ウェブサイト「会社情報」から「スチュワードシップ活動」をご覧ください。

ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は△3.2%、当ファンドの基準価額の騰落率は△1.8%となりました。保管費用、運用管理費用等のコスト負担、実質的な株式ポートフォリオとベンチマークとの騰落率の差異、ベンチマークとファンドの為替評価基準のずれが、かい離要因としてあげられます。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



\* ベンチマークはMSCI ACWI ESG Leaders指数（税引後配当込み、円ベース）です。

## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

| 項 目        | 当 期                       |       |
|------------|---------------------------|-------|
|            | 2024年4月11日<br>～2025年4月10日 |       |
| 当期分配金（税込み） | （円）                       | —     |
| 対基準価額比率    | （％）                       | —     |
| 当期の収益      | （円）                       | —     |
| 当期の収益以外    | （円）                       | —     |
| 翌期繰越分配対象額  | （円）                       | 4,678 |

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- （注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

主として「全世界株式E S G インデックスマザーファンド」の受益証券に投資します。

### ■全世界株式E S G インデックスマザーファンド

主として、日本を含む世界の株式（D R（預託証券）を含む。）に投資し、投資成果をベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行うことを基本とします。また、効率性の観点から日本を含む世界の株価指数との連動をめざすE T F（上場投資信託証券）や株価指数先物取引等にも投資します。



## お知らせ

### ■ファンド名称の変更について

2024年10月25日付で、ファンドの名称を変更しました。

- ・変更前：iFree 全世界株式E S Gリーダーズ・インデックス
- ・変更後：iFree オールカントリー（全世界株式）E S Gインデックス（愛称：未来へつなぐオールカントリー（ミラカン））

### ■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

---

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。



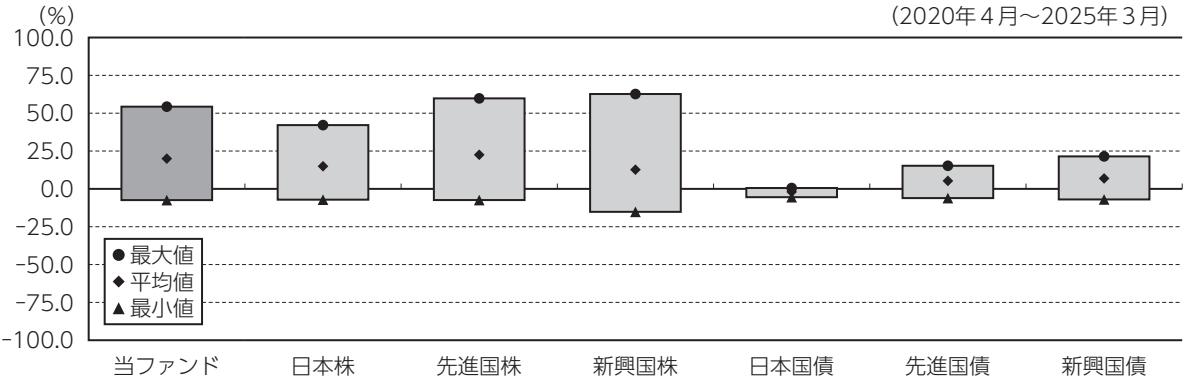
## 当ファンドの概要

|                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                            |  |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 商 品 分 類              | 追加型投信／内外／株式／インデックス型                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                            |  |
| 信 託 期 間              | 無期限（設定日：2022年5月10日）                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                            |  |
| 運 用 方 針              | 投資成果をMSCI ACWI ESG Leaders指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                            |  |
| 主 要 投 資 対 象          | ベビーファンド                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 全世界株式E S Gインデックスマザーファンドの受益証券                                                                                               |  |
|                      | 全世界株式E S Gインデックス<br>マザーファンド                                                                                                                                                                                                                                                                  | イ、日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（D R（預託証券）を含みます。）<br>ロ、株価指数先物取引<br>ハ、日本を含む世界の株価指数との連動をめざすE T F（上場投資信託証券） |  |
| マザーファンド<br>の 運 用 方 法 | ①主として、日本を含む世界の株式に投資し、投資成果をMSCI ACWI ESG Leaders指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。<br>※効率性の観点から、日本を含む世界の株価指数との連動をめざすE T F（上場投資信託証券）に投資する場合があります。<br>②運用の効率化を図るため、株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、株式等の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。<br>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。 |                                                                                                                            |  |
| 分 配 方 針              | 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。                                                                                                                                                             |                                                                                                                            |  |



# 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2020年4月～2025年3月)



|     | 当ファンド | 日本株  | 先進国株 | 新興国株  | 日本国債 | 先進国国債 | 新興国債 |
|-----|-------|------|------|-------|------|-------|------|
| 最大値 | 54.3  | 42.1 | 59.8 | 62.7  | 0.6  | 15.3  | 21.5 |
| 平均値 | 20.0  | 14.9 | 22.5 | 12.7  | -2.0 | 5.3   | 6.9  |
| 最小値 | -7.4  | -7.1 | -7.4 | -15.2 | -5.5 | -6.1  | -7.0 |

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみに表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

- 日本株……………配当込みT O P I X
- 先進国株……………M S C I コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株……………M S C I エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債……………N O M U R A - B P I 国債
- 先進国債……………F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債……………J P モルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みT O P I Xの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●M S C I コクサイ・インデックスおよびM S C I エマージング・マーケット・インデックスは、M S C I Inc.（「M S C I」）が開発した指数です。本ファンドは、M S C Iによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、M S C Iは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●N O M U R A - B P I 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。N O M U R A - B P I 国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●F T S E 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J P モルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



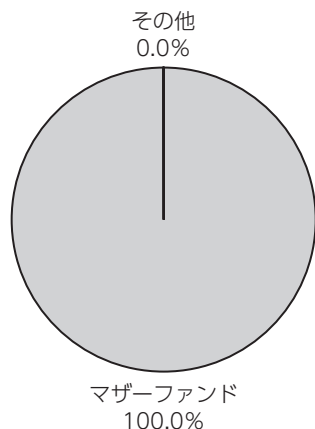
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

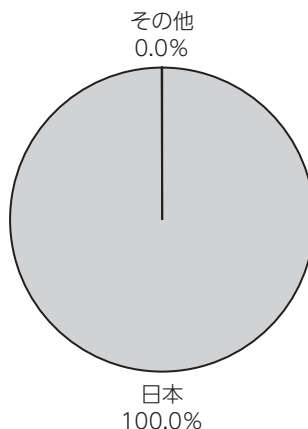
### 組入ファンド等

|                          | 比 率    |
|--------------------------|--------|
| 全世界株式 E S Gインデックスマザーファンド | 100.0% |
| その他                      | 0.0    |

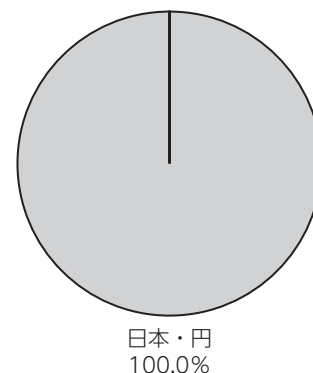
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2025年4月10日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

| 項 目       | 当 期 末        |
|-----------|--------------|
|           | 2025年4月10日   |
| 純資産総額     | 618,608,154円 |
| 受益権総口数    | 421,437,003口 |
| 1万口当り基準価額 | 14,679円      |

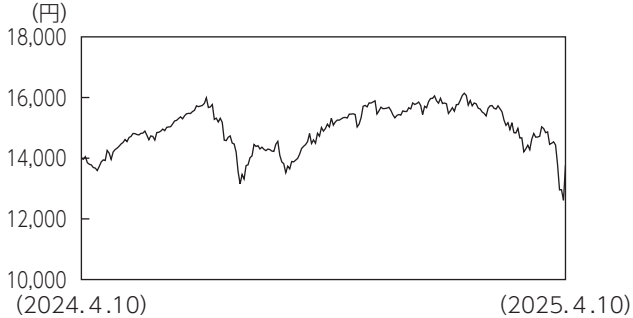
\*当期中における追加設定元本額は274,591,850円、同解約元本額は110,129,281円です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆全世界株式E S Gインデックスマザーファンド（作成対象期間 2024年 4月11日～2025年 4月10日）

■基準価額の推移



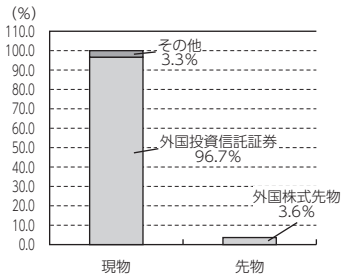
■ 1万口当りの費用の明細

| 項 目                   |           |
|-----------------------|-----------|
| 売買委託手数料<br>(先物・オプション) | 3円<br>(0) |
| (投資信託受益証券)            | (0)       |
| (投資証券)                | (2)       |
| 有価証券取引税<br>(投資信託受益証券) | 0<br>(0)  |
| (投資証券)                | (0)       |
| その他費用<br>(保管費用)       | 7<br>(7)  |
| (その他)                 | (0)       |
| 合 計                   | 10        |

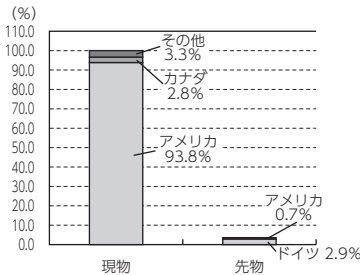
■組入上位銘柄

| 銘柄名                                | 通貨        | 比率    |
|------------------------------------|-----------|-------|
| XTRACKERS MSCI USA ESG LEADERS EQU | アメリカ・ドル   | 62.4% |
| XTRACKERS MSCI EAFE ESG LEADERS EQ | アメリカ・ドル   | 21.0  |
| ISHARES ESG MSCI EM LEADERS ETF    | アメリカ・ドル   | 10.4  |
| MSCI WORLD INDEX JUN 25 買          | アメリカ・ドル   | 2.9   |
| BMO MSCI CANADA ESG LEADERS INDEX  | カナダ・ドル    | 2.8   |
| MSCI EMER MKT INDEX (ICE) JUN 25 買 | アメリカ・ドル   | 0.7   |
| 組入銘柄数                              | 6銘柄（先物含む） |       |

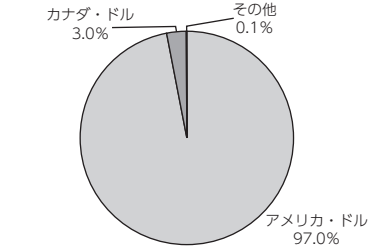
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



- (注 1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。
- (注 2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注 4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。
- (注 5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

# Memo

大和アセットマネジメント

---

Daiwa Asset Management